

御 菌 小 だ よ い

平成25年3月11日
伊勢市立御菌小学校

No. 49

校長室より

卒業式まで、あと4日となりました。式の練習も仕上げの段階に入りました。6年生の子どもたちは、緊張しながらも、とても一生懸命です。もちろん、式に参加する4、5年生のみなさんも、頑張ってくれています。

ところで、卒業証書に記載する証書番号ですが、今年の卒業生で6518番となりました。この番号、もちろん御菌小学校創立時代からのものではありません。戦後の昭和23年3月の卒業生を1番として、そこから今年で6518となったのです。ですから、長い歴史を誇る御菌小学校の卒業生は、優に1万人は超えているでしょう。戦争という悲しい歴史を節目として、新しい番号でスタートした証書番号。これからは、1万2万10万と、とぎれることなく続いていってほしいと思います。そして、6年生の皆さんには、御菌小学校の輝かしい歴史に誇りを持ちながら、中学校へと巣立ってほしいと思います。



6年生を送る会 ～各学年から想いを込めて～

2月26日(火)、新体育館で6年生を送る会が行われました。この日まで、各学年では、それぞれ頑張って発表する劇や歌などの練習を続けてきました。特に1～3年生のみなさんは卒業式に参加しませんから、今回が6年生のみなさんと全体で顔を合わせる最後の行事となります。みんな真剣に、出し物を披露してくれました。

- 1年生 歌とよびかけ
- 2年生 歌とよびかけ
- 3年生 リコーダー演奏と音楽物語「かさじぞう」
- 4年生 音楽劇「11ぴきのねこ」
- 5年生 劇「思い出の日々」と歌
- 6年生 群読「生きる」と歌「ふるさと」



全部の出し物が終わった後、在校生を代表して、1年生のみなさんから、6年生にプレゼントが贈られました。6年生のみなさんは、とても嬉しそうでした。ところで、この行事を中心になって企画運営してくれたのは5年生の皆さんでしたが、とても頼もしく感じました。来年度は最高学年として、しっかり頑張ってくれるものと思います。

お別れ遠足 ～パルケエスパニーャへ～

朝から天気のこと心配でした。予報では、昼過ぎから雨。せめてスペイン村を出るまでは降らないでと願いながら出発しました。曇り空ながら、それほど冷え込みもなく、全員が参加できたのは、とてもよかったと思います。



宮町からの電車は、御菌小と厚生小の貸し切りのあおぞら号。あおぞら号には、保護者の皆様の中にも、乗ったことがある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。あおぞら号を磯部駅で降りて、バスに乗り継ぎます。海辺の道に入った頃から、遠くにスペイン村が見えてきます。子どもたちのテンションも一気に上がったようでした。



スペイン村に着くと、まずはパエリヤ作りに挑戦です。二つの会場に分かれて、プロのシェフから作り方を教えていただきながら、パエリヤを作りました。1時間近くの悪戦苦闘の末、ようやく完成。少し米が堅い班もあったようですが、みんなおいしそうに食べていました。このあと、シェフの作ったパエリヤも食べて、みんなお腹一杯でした。

午後からは、グループに分かれての自由行動です。新しいアトラクションも出来たそうで、みんなお目当ての場所目指して移動していきました。幸い、集合時間の2時20分になっても雨は降らず、学級ごとの記念撮影も無事終了。バスと電車を乗り継いで、御菌まで帰ってきました。これで、6年生の行事も卒業式のみとなりました。とても楽しそうにしていた子どもたちでしたが、卒業の日が近づいてきた寂しさも感じていたようです。

ところで、パエリヤを食べたあとの片づけ・・・とても素晴らしかったです。短時間に手際よくできました。さすが御菌小学校の最高学年です。

3. 11を忘れない!

あの東日本大震災から今日で2年。震災の復興はまだまだの状況ですが、我々の危機意識が薄れているとの指摘もあります。今日は、運動場の掲揚塔に半旗を掲揚しました。また、地震が起こった2時46分には、全員で黙祷を行いました。震災の犠牲者の方の冥福を祈るとともに、今回多くの犠牲の中で学んだ教訓を忘れないという決意を込めて・・・。お家でも、震災を話題にして、ぜひお子様と話し合いをしていただければと思います。

6年生保護者の皆様

お子様のご卒業、誠におめでとうございます。お子様は6年間の小学校課程を無事修了され、3月15日に卒業の日を迎えられます。

今まで御菌小学校教育活動に対して、ご理解・ご支援を賜りましたこと、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。なお、大変お忙しい時期ではございますが、卒業式にはぜひご参加いただきますよう、よろしく願いいたします。